

— 全国の忠臣蔵ゆかりの地が集結 —

第34回 義士親善友好都市交流会議

忠臣蔵 サミットin 笠間

オープニング

徳家いよめの娘曲披露

かさま応援大使
現役最高齢103歳曲師

玉川 祐子

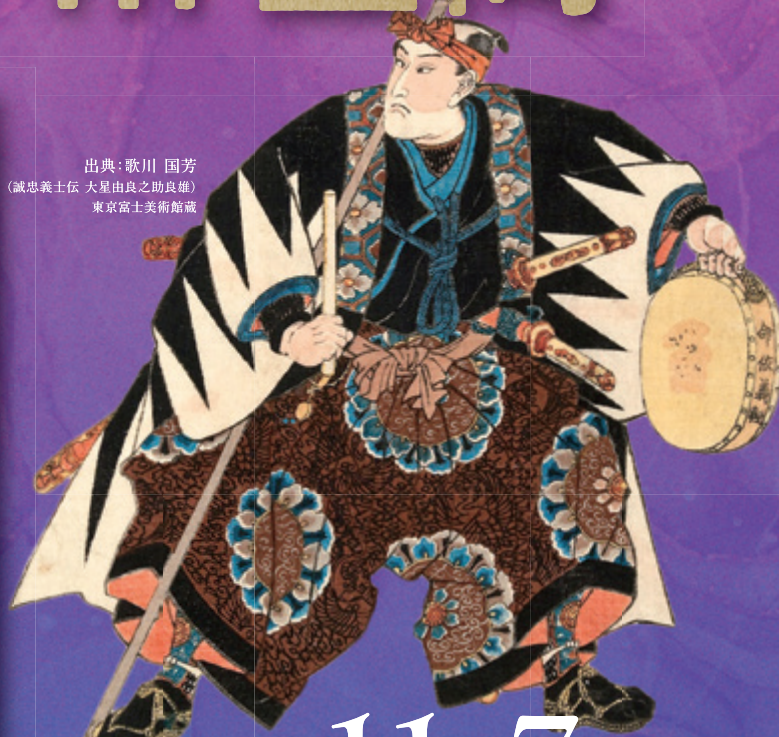
赤穂義士講談会

講師

お代目 神田 伯山



出典：歌川 国芳
(誠忠義士伝 大星由良之助良雄)
東京富士美術館蔵



とき 2025年11月7日(金)

[1部]忠臣蔵サミット：開会 午後3時30分

[2部]赤穂義士講談会：開演 午後5時00分

※事前チケット購入制

ところ 笠間公民館 大ホール

〒309-1613 笠間市石井2068-1

＼チケット購入・詳細／



「忠臣蔵」とは

元禄14(1701)年、江戸城内の松の廊下で赤穂藩藩主・浅野内匠頭長矩(あさのたくみのかみながのり)が高家肝煎・吉良上野介義央(きらくうずけのすけよしひさ)に刃傷に及びました。浅野長矩は即日切腹となりましたが、吉良義央はお咎めなし。元禄15年(1702)12月14日、大石内藏助をはじめとする赤穂義士が、亡き主君の浅野内匠頭長矩の仇討ちを実行しました。長矩の刃傷事件と赤穂義士の仇討ちは「赤穂事件」と呼ばれ、後に「忠臣蔵」として広く知られています。浅野家は、赤穂移封前は笠間藩主であったことから、笠間市も浅野家ゆかりの地の一つといえます。

義士親善友好都市交流会議

「忠臣蔵サミット」とは

平成元年に赤穂市が全国の「赤穂義士ゆかりの地」に呼び掛けたことをきっかけに、32自治体で構成する会です。年に1度サミットを開催し、参加自治体の親善と友好を深めながら情報交換、地域の活性化と発展向上を図っています。

スケジュール

〔一部〕忠臣蔵サミット

オープニングセレモニー

忠臣蔵ゆかりの自治体紹介

〔二部〕赤穂義士講演会



講演

六代目 神田 伯山 (かんだはくざん)



「連続物」と言われる、寛永宮本武蔵伝 全17席、慶安太平記 全19席、村井長庵 全12席、天明白浪伝 全10席、天保水滸伝、畔倉重四郎 etc.
また、「端物」と言われる数々の読み物を異例の早さで継承した講演師。持ちネタの数は200を超え、独演会のチケットは即日完売。講演普及の先頭に立つ活躍をしている。

曲師

かさま応援大使 玉川 祐子 (たまがわゆうこ)



1922年10月1日生まれ、現役最高齢103歳の曲師。小学校を卒業後、子守の奉公に行き、隣のレコード店から浪曲が流れてくるのを聴いたのがきっかけで入門。笠間市出身で、「かさま応援大使」として笠間市をPRしている。

浪曲師

港家 小そめ (みなとやこそめ)



2013年夏、偶然入った浅草・木馬亭浪曲定席で港家小柳の浪曲に感銘を受ける。2013年9月に入門し、2014年9月に初舞台を踏む。2019年6月木馬亭にて名披露目興行。

〈チケット購入について〉

❖ 全席指定席 3,000円(税込) ❖

※未就学児の入場はご遠慮ください。※チケットの払い戻し、および再発行はできません。
※提供いただいた個人情報、チケット確認または緊急連絡以外の目的では使用しません。
※本チケットの転売目的での購入およびオークションへの出品などは禁止させていただきます。これらの行為が発覚したチケットは無効となり、ご入場いただけません。

〈詳細・チケットの購入はこちら〉

